

◆ 医療計画作成指針等について

1

都道府県医療計画作成に係る指針等

- ① 『医療提供体制の確保に関する基本方針』
※平成19年厚生労働省告示第70号
- ② 『医療計画作成指針』
※令和5年3月31日付医政発0331第16号「医療計画について」別紙
- ③ 『疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制構築に係る指針』
※令和5年3月31日付医政地発0331第14号「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」別紙
- ④ 『医療計画と各計画との一体的策定について』
※令和5年3月31日付け事務連絡

2

指針等の主なポイント①

- 計画期間は6年間。
- 一般の入院医療を提供するための一体の区域として二次医療圏を設定する。
- 療養病床及び一般病床に係る基準病床数は、二次医療圏ごとに算定する。
- 精神病床、結核病床及び感染症病床に係る基準病床数は、都道府県の区域ごとに算定する。
- 効率的で質の高い医療提供体制を地域ごとに構築するため、政策循環（PDCAサイクル等）の仕組みを強化する。
- 実効性ある施策の検討及び評価のため、ロジックモデル等のツールの活用を検討する。
- 政策的に関連の深い他の計画に、医療計画に記載すべき事項と同様の内容が記載されている場合、医療計画上で、それらの計画の対応する箇所を明示することで、具体的な記載に代替できる。
- 都道府県介護保険事業支援計画・市町村介護保険事業計画との整合性を確保する。
- 医療計画の内容について分かりやすく公表・周知する。

3

指針等の主なポイント②

（計画の策定）

- ストラクチャー・プロセス・アウトカムに分類した指標により、住民の健康状態、医療提供体制の経年的な比較、指標間相互の関係性などを明らかにする。
- 疾病・事業ごとの協議する場（作業部会）を設置して協議する。
- 必要に応じて、圏域ごとに具体的な連携等について協議する場（圏域連携会議）を設置する。
- 原則として、各医療機能を担う医療機関等の名称を記載する。

（計画の推進）

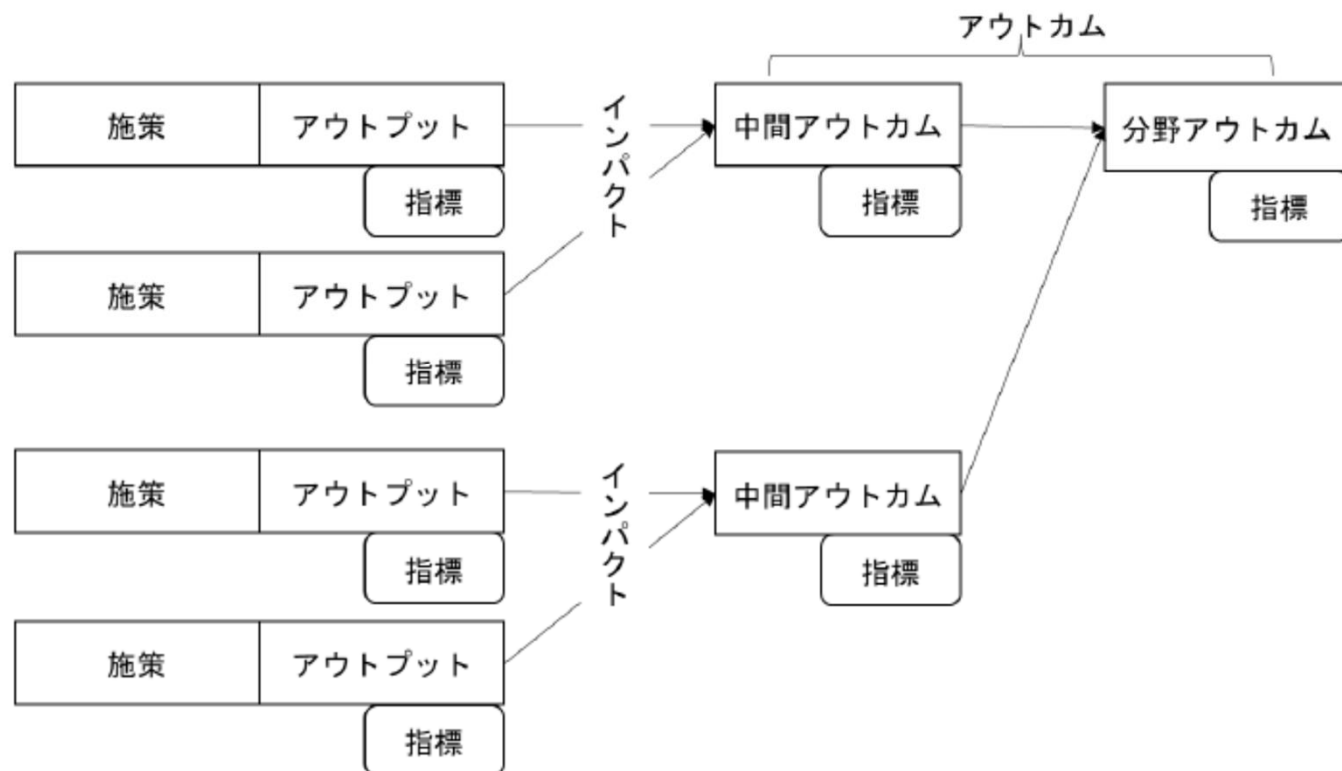
- 計画の実効性を上げるため、具体的な数値目標の設定と評価を行い、その評価結果に基づき、計画の内容を見直す。
- 各疾病・事業について、数値目標の年次推移や施策の進捗状況の把握、評価を定期的 to 実施し、目標に対する進捗状況が不十分な場合、その原因を分析し、必要に応じて施策の見直しを図る。
- 作業部会、圏域連携会議又は地域医療構想調整会議において、情報共有及び連携推進を行う。
- 施策の目標、推進体制、推進方策、評価・見直し方法等を明らかにする。

4

(参考) ロジックモデルについて

- ロジックモデルとは、施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの。
- 施策と目標の関係性を明確にし、施策の効果を住民の健康状態や患者の状態といった成果から評価・分析することにより、目標達成に向けたPDCAサイクルを強化するためのもの。

ロジックモデルの構成要素の例示



5

(参考) 用語の定義

- アウトプット（結果）
 - … 施策や事業を実施して、実施主体側に生じたこと
- アウトカム（成果）
 - … 施策や事業が、働きかけた対象にもたらした変化
- インパクト（影響）
 - … アウトプットがアウトカムに及ぼした影響
- アウトカム指標
 - … 住民の健康状態や患者の状態を測る指標
- プロセス指標
 - … 実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標
- ストラクチャー指標
 - … 医療サービスを提供する物的資源、人的資源及び組織体制、外部環境並びに対象となる母集団を測る指標

6

(参考) 評価指標の考え方

- 具体性、特異性 (Specific)
 - … 具体的であるかどうか、施策や事業に特異的であるかどうか。
- 測定可能性 (Measurable)
 - … 数値目標、達成期間、期待する達成度などが明示され、測定可能であるかどうか。
- 達成可能性 (Attainable)
 - … 達成可能であるかどうか。コスト、スケジュール、従事者の質と量、社会環境への適合性に問題はないか。関係者の反対はどうか。
- 現実性 (Realistic)
 - … 現実的かどうか。目標を達成するための手段は適切な因果関係となっているかどうか。
- 期限明示 (Time bound)
 - … 実施時期、終期、期限などが明示されているか。